

「やまなしの教育振興プラン」進捗状況

担当課	H23年度 現況値の公表時期	指 標 の 概 要	H19年度 の現況値	H25年度 の目標値	H23年度 の現況値	進捗率 %	実施状況（今後の取り組み）	
1 義務教育課	東日本大震災のため H23年度調査中止	・「全国学力・学習状況調査」における「将来の夢や目標を持っている」の設問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合	小 86.7 %	小 90 %	小 %			
			中 73.0 %	中 80 %	中 %			
3 高校教育課	H21年度事業廃止	・「山梨県公立高等学校教育課程実施状況調査」における「将来の夢や目標を持っている」の設問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合	高 70.4 %	高 80 %	高 %			
4 高校教育課	H24年 3月	・就業体験を実施している高校の割合	高 65.6 %	高 80 %	高 62.5 %	-21.5		平成24年4月の調査では、30校中24校が実施予定である。（H23に実施しなかった甲府一が検討中、身延、日川、上野原、都留が実施に変更）今後も教育事務所、ハローワーク等関係先と連携しながら支援をしていく予定である。
5 高校教育課	H24年 3月	・企業等で実習体験をしている生徒の数	高 150 人	高 300 人	高 534 人	256.0		国（地域産業担い手育成事業）や県単（地域連携ものづくり人材育成事業）事業の取組により参加生徒数が増えた。今後も、連携企業数を増やし、参加生徒数の増加を図る。
6 高校教育課	H24年 3月	・企業等の研修に参加した教員の数	高 162 人	高 180	高 113 人	-272.2		国や県単事業の取組により、参加数は増加傾向にあったが、23年度は企業実習参加生徒の増加に伴い、研修時期が重なり減少した。今年度は、時期等の見直しをおこない、参加者数の増加を図る。
7 義務教育課	東日本大震災のため H23年度調査中止	・「全国学力・学習状況調査」における「国語の授業の内容はよくわかる」の設問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合	小 81.8 %	小 90 %	小 %			
			中 72.1 %	中 80 %	中 %			
9 高校教育課	H21年度事業廃止	・「山梨県公立高等学校教育課程実施状況調査」における「国語の勉強がどの程度分かるか」の設問に「よく分かる」「だいたい分かる」と回答した生徒の割合	高 57.7 %	高 70 %	高 %			
10 義務教育課	東日本大震災のため H23年度調査中止	・「全国学力・学習状況調査」における「算数（数学）の授業の内容はよくわかる」の設問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合	小 79.2 %	小 90 %	小 %			
			中 62.1 %	中 70 %	中 %			
12 高校教育課	H21年度事業廃止	・「山梨県公立高等学校教育課程実施状況調査」における「数学の勉強がどの程度分かるか」の設問に「よく分かる」「だいたい分かる」と回答した生徒の割合	高 51.3 %	高 70 %	高 %			
13 高校教育課	H21年度事業廃止	・「山梨県公立高等学校教育課程実施状況調査」における「英語の勉強がどの程度分かるか」の設問に「よく分かる」「だいたい分かる」と回答した生徒の割合	高 45.5 %	高 60 %	高 %			

「やまなしの教育振興プラン」進捗状況

担当課	H23年度 現況値の公表時期	指標の概要	H19年度 の現況値	H25年度 の目標値	H23年度 の現況値	進捗率 %	実施状況（今後の取り組み）
14 義務教育課	H24年11月	・学習指導要領に示された目標に沿った指導と評価を実践するために、各教科毎に学力を観点別にとらえた評価規準を整備している学校の割合	小 91.2 %	100 %	小 100 %	100	すべての学校で観点別にとらえた評価規準を整備している。今後も目標に沿った指導と評価が実践できるよう改善していくことを働きかけていく。
15	中 89.6 %		中 100 %		100		
16 高校教育課	H24年 4月		高 92.5 %		高 100 %	100	
17 義務教育課	東日本大震災のため H23年度調査中止	・「全国学力・学習状況調査」における「学校の授業時間以外に普段、1日あたりどれだけの時間、勉強をしていますか」の設問に「全くしていない」と答えた児童生徒の割合	小 3.6 %	小 2 %	小 %		
18			中 9.3 %	中 5 %	中 %		
19 高校教育課	H21年度事業廃止	・「山梨県公立高等学校教育課程実施状況調査」における「学校の授業以外に、1日だいたいどのくらい勉強しますか」の設問に「全く、または、ほとんどしない」と答えた生徒の割合	高 28.2 %	高 15 %	高 %		
20 義務教育課	東日本大震災のため H23年度調査中止	・「全国学力・学習状況調査」における「総合的な学習の時間の勉強は好きですか」の設問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた児童生徒の割合	小 82.4 %	小 90 %	小 %		
21			中 68.5 %	中 80 %	中 %		
22 高校教育課	H24年 6月	・教員や生徒により小中学生への授業等を実施している高校の割合	高 62.1 %	高 80 %	高 75.0 %	72.1	
23 義務教育課	東日本大震災のため H23年度調査中止	・「全国学力・学習状況調査」における「学校のきまりを守っている」の設問に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合	小 88.8 %	90 %	小 %		
24			中 87.1 %		中 %		
25 高校教育課	H21年度事業廃止	・「山梨県高等学校教育課程実施状況調査」における「学校の規則を守っている」の設問に、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒の割合	高 85.2 %		高 %		
26 義務教育課	H24年 4月	・道徳の授業を地域住民や保護者に公開している学校の割合	小 34.8	70 %	小 96.8 %	176.1	H25の目標値は達成しているが、全ての学校で道徳の授業公開が行われるよう「やまなし心づくり推進運動」等を通して実施を呼びかけていく。
27			中 27.1		中 92.0 %	151.3	
28 義務教育課	東日本大震災のため H23年度調査中止	・「全国学力・学習状況調査」における「人が困っているときは、進んで助けている」の設問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合	小 82.4 %	90 %	小 %		
29			中 77.6 %		中 %		
30 義務教育課	H21年度調査項目から 削除	・「全国学力・学習状況調査」における「海、山、湖、川などで遊んだ経験がある」の設問に「何度もあった」「時々あった」と回答した児童の割合（小学校）	小 84.8 %	90 %	小 %		
31			中 86.4 %		中 %		

「やまなしの教育振興プラン」進捗状況

担当課	H23年度 現況値の公表時期	指標の概要	H19年度 の現況値	H25年度 の目標値	H23年度 の現況値	進捗率 %	実施状況（今後の取り組み）
32 高校教育課	H23年12月	・文化部の活動を充実させるために行われている 高校芸術文化祭への参加者数	18,416 人	20,000 人	19,931 人	95.6	参加部門数は年々増加しており、生徒数の減少を考慮すると、ほぼ目標値は達成できたものと考えられる。
33 義務教育課	H24年 9月	・「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」における公立学校の「いじめの認知件数」	小 251 件	小 200 件	小 124 件	249.0	平成19年度と比較すると、小学校では減少、中学校では逆に増加している。積極的に、いじめを認知し、早期発見早期対応に努めるとともに、未然防止に係る取り組みを進め、認知件数も抑えていきたい。
34			中 319 件	中 230 件	中 330 件	-12.4	
35 高校教育課			高 169 件	高 100 件	高 121 件	69.6	
36 義務教育課	H24年 9月	・「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」における公立学校の「不登校児童生徒」の人数	小 188 人	小 160 人	小 140 人	171.4	平成19年度と比較すると、着実に成果を上げ、小・中学校ともに減少している。さらにこの減少の流れを定着させるため、未然防止の取り組みを推進していきたい。
37			中 995 人	中 700 人	中 683 人	105.8	
38 高校教育課			高 299 人	高 280 人	高 212 人	457.9	
39 義務教育課	H24年 9月	・「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」における公立学校の「暴力行為」の件数	小 6 件	小 3 件	小 27 件	-700	平成19年度と比較すると、小・中学校ともに増加している。しかし、中学校においてはH20年度の211件をピークに減少傾向にあるので、さらに積極的な取り組みを進める中で、発生件数を抑えていきたい。
40			中 135 件	中 90 件	中 183 件	-106.7	
41 高校教育課			高 72 件	高 50 件	高 39 件	150.0	
42 義務教育課	東日本大震災のため H23年度調査中止	・「全国学力・学習状況調査」における「家や図書館で、普段、1日あたりどれくらいの時間、読書を読みますか」の設問に「全くしない」と答えた児童生徒の割合	小 15.4 %	小 10 %	小 %		
43			中 32.5 %	中 20 %	中 %		
44 高校教育課	H21年度事業廃止	・「山梨県公立高等学校教育課程実施状況調査」における「学校の授業以外で1日だいたい、どのくらい読書を読みますか」の設問に「全く、または、ほとんどしない」と答えた生徒の割合	高 50.5 %	高 30 %	高 %		
45 スポーツ健康課	H24年 3月	・「山梨県新体力テスト・健康実態調査」で授業以外で週3日以上運動・スポーツを実施している小学生（5・6年生）の割合	小 48.2 %	小 65 %	小 47.5 %	-4.2	健康・体力づくり一校一実践運動において、先進的な実践をしている学校紹介や運動プログラム例の情報提供を行い、運動をしない児童、運動を苦手とする児童への積極的な働きかけを継続していく。また、体育科の授業の充実に加え、教科外の体育的な活動や、家庭や地域との連携による取組を進めていく。
46 スポーツ健康課	H24年 3月	・「山梨県新体力テスト・健康実態調査」で小学生（5年生）のボール投げの平均値のピーク時（昭和56年）の値に対する割合	小 81.7 %	小 90 %	小 78.1 %	-43.4	小学校低学年から多様な動きを経験し、その動きの質を高めていくことに努める。体育科の授業や健康・体力づくり一校一実践運動のプログラムの中で、発達の段階に応じた様々な遊びやボール・縄・遊具などの操作及び身のこなしが育まれるような運動を意図的、継続的に行うことができるようにする。

「やまなしの教育振興プラン」進捗状況

担当課	H23年度 現況値の公表時期	指標の概要	H19年度 の現況値	H25年度 の目標値	H23年度 の現況値	進捗率 %	実施状況（今後の取り組み）
47 スポーツ健康課	H24年 4月	・薬物乱用防止教室を実施している学校の割合	中 29.2 %	中 60 %	中 44.8 %	50.6	平成19年度と比較すると中学校、高校ともに実施率は向上しているが、教室を隔年で実施している学校などがあるため実施率が伸びていない。 各学校に教室開催促進の依頼、外部講師の名簿を通知するとともに、各種研修で教室実施促進のための取組を行う。
			高 87.5 %	高 100 %	高 90.3 %	22.4	
49 スポーツ健康課	H24年 3月	・「山梨県新体力テスト・健康実態調査」で児童生徒が朝食を摂取している割合	小 91 %	小 95 %	小 92.0 %	25.0	運動・食事・睡眠といった規則正しい生活習慣を持つ児童・生徒は、体力数値が高い傾向にある。全体的に健康的な生活習慣が向上してきている。 しかし、小学校期は保護者の意識を含めた家庭環境の影響を大きく受けるため、低学年からの継続指導が必要である。 今後も学校から保護者などに対しての啓発を推進していく。
			中 84 %	中 90 %	中 88.0 %	66.7	
51 スポーツ健康課	H24年 4月	・食に関する指導全体計画を作成している学校の割合	高 78.3 %	高 90 %	高 83.2 %	41.9	小学校、中学校、高校ともに計画の作成率は向上している。 今後も研修会等の機会を通して食に関する指導の必要性について啓発し、計画の作成を推進していく。
			小 64.2 %	100 %	小 97.9 %	94.1	
52 スポーツ健康課	H24年 4月	・食に関する指導全体計画を作成している学校の割合	中 53.8 %	100 %	中 81.6 %	60.2	小学校、中学校、高校ともに計画の作成率は向上している。 今後も研修会等の機会を通して食に関する指導の必要性について啓発し、計画の作成を推進していく。
			高 10.2 %		高 50.0 %	44.3	
55 新しい学校づくり推進室	H24年 2月	・一人ひとりの児童生徒の障害の状態や発達段階等に応じた学習指導を行うための「個別の指導計画」を作成している小中学校の割合	小 57.2 %	70 %	小 81.8 %	192.2	特別支援教育研究協議会において、教育課程編制及び評価に関わる説明を重点的に行った結果、H19年度と比較すると作成している学校の割合が増え、H25年度の目標値を上回ることができた。 今後も、管理職研修会や教育課程説明会において、その必要性について重点的に説明し、作成の定着を図りたい。
			中 39.8 %		中 81.1 %	136.8	
57 新しい学校づくり推進室	H24年 2月	・一人ひとりの児童生徒の教育的ニーズに応じ、関係機関が連携して適切な指導及び必要な指導を行うための「個別の教育支援計画」を作成している小中学校の割合	小 46.2 %	70 %	小 79.2 %	138.7	特別支援教育研究協議会や小・中学校に設置してある特別支援学級担任を対象とした研修会において、関係機関と連携した指導の重要性を重点的に説明した結果、H25年度の目標値を上回ることができた。 今後は、作成した計画を基に関係機関と連携した指導を行うことができるよう、計画の活用について検討をしていきたい。
			中 35.7 %		中 78.9 %	125.9	
59 新しい学校づくり推進室	H24年 4月	・県立特別支援学校高等部の新卒生徒の就職割合	14.6 %	20 %	14.9 %	5.6	H19年度と比較すると微増であるが、H22年度と比べると倍増である。特に「産業現場等における実習（以下、「実習」という。）の受け入れ先の新規開拓が進んでおり、新規開拓先に就職できたものが、約5割となっている。 今後も引き続き、新規の実習先を開拓していくとともに、労働関係機関と連携しながら進路指導、就労支援を進める。
60 義務教育課	H24年 3月	・省エネ・省資源活動等に取り組んでいる学校の割合	小 87.8 %	100 %	小 99.5 %	95.9	東日本大震災の影響を受け、省エネルギーや省資源活動への意識の高まりを感じる。今年度100%を目指し呼びかけていきたい。
			中 84.4 %		中 100 %	100	
62 高校教育課	H24年 3月		高 75.9 %		高 96.7 %	86.3	あと1校で目標値の100%に達する。取組を働きかけていく。
63 高校教育課	H24年 3月	・福祉の心を培い、福祉の実践力を高めるための福祉教育に取り組む高校の割合 ※ 小・中は100%達成済	高 92 %	高 100 %	高 100 %	100	目標値に到達した。今後も各校の実態にあった福祉教育の実践に努めていきたい。

「やまなしの教育振興プラン」進捗状況

担当課	H23年度 現況値の公表時期	指標の概要	H19年度の 現況値	H25年度の 目標値	H23年度の 現況値	進捗率 %	実施状況（今後の取り組み）
64 義務教育課	H24年 8月	・コンピュータや提示装置等を活用して指導する能力を持つ教員の割合	小 56.8 %	小 70 %	小 62.0 %	39.4	コンピュータや提示装置等を用いた授業の実践事例を紹介し、ICT機器の活用を促し、コンピュータや提示装置等を活用して指導する能力を持つ教員の割合を増やしていきたい。
65			中 56.3 %	中 70 %	中 61.1 %	35.0	
66 高校教育課	H24年 9月		高 64.3 %	高 80 %	高 66.1 %	11.5	
67 高校教育課	H24年 6月	・大学教員による授業を取り入れている高校の割合	高 69 %	高 80 %	高 81.3 %	111.8	高大連携推進の効果もあり、目標を達成できた。
68 義務教育課	H24年 2月	・教育活動に係る自己評価に対する学校関係者評価を実施・公表している学校の割合	小 39.9 %	100 %	小 100 %	100	
69			中 43.8 %		中 100 %	100	
70 高校教育課	H24年 6月		高 71.7 %		高 100 %	100	
71 義務教育課	H24年 2月	・保育所や幼稚園との交流活動を年に3回以上行った小学校の割合	小 39 %	小 60 %	小 44.0 %	23.8	交流は定着しつつあるものの、回数は増加していない。保幼小連携研修会等を行い、実践事例を広く紹介していきたい。
72 高校教育課	H24年 3月	・乳幼児とのふれ合い体験を実施している高校の割合	高 79.3 %	高 100 %	高 90.0 %	51.7	既に実施している高校については、今後も継続実施を依頼する。 未実施校については、学校訪問を利用して個別に実施を要請する。
73 社会教育課	H24年 3月	・様々な知識や技能を持つ地域住民が学校や家庭、地域に貢献できるための仕組みづくりに取り組んだ市町村の割合	0	100 %	100 %	100	未設置の市町村に対し学校応援団設置の働きかけをした結果、山梨県内全市町村に設置することができた。 今後は、引き続き「コーディネーター研修会」の開催や、HPによる先進的な事例紹介を行ない、より充実した学校応援団の取り組みになるよう指導・助言していきたい。
74 義務教育課	H24年 8月	・学校のホームページで情報提供を行っている学校の割合 ※ 高校は100%達成済	小 62.2 %	80 %	小 75.1 %	72.5	ホームページによる情報提供は、開かれた学校づくりという観点からだけでなく、災害時における情報提供に役立つという有効性にも触れ、未開設の学校にホームページ開設を促していく。
75			中 60.2 %		中 67.8 %	38.4	

「やまなしの教育振興プラン」進捗状況

担当課	H23年度 現況値の公表時期	指標の概要	H19年度 の現況値	H25年度 の目標値	H23年度 の現況値	進捗率 %	実施状況（今後の取り組み）
76 生涯学習文化課	H24年 4月	・「やまなしまなびネットワークシステム」で提供している学習機会や人材等の学習情報へのアクセス件数	836,370 件	1,000,000 件	544,982 件	-178.1	一昨年と比較すると、アクセス数は△40Pと激減した。他県の検索システムも同様な状況にあり、要因としてインターネット検索エンジンの検索ロボットアルゴリズムの変更が考えられる。いずれにしても、平成14年のシステム稼働から基本的構成を変更していないため、システムが現在のインターネット利用者ニーズとミスマッチしている可能性も否定できない。このため、来年度の機器リース及びシステム保守の長期継続契約終了に合わせ、システム更新も含め再考して行きたい。
77 生涯学習文化課	H24年 4月	・県、市町村、大学、民間団体等が連携し、多様な学習機会を提供する「キャンパスネットやまなし」に入学した人の数（累計）	3,098 人	5,000 人	4,746 人	86.6	毎年、400人前後の入学者数で推移しているが、昨年は、一昨年と比較すると△8ポイントとなっている。制度創設から10年経過しており、新規に掘り起こしを図るため、あらためて市町村担当者への周知を図りつつ、生涯学習センター主催講座等での直接PRにより、入学者増につなげたい。
78 生涯学習文化課	H24年 3月	・「キャンパスネットやまなし」において所定の単位を取得し、奨励賞を交付された学習者の数（累計）	1,154 人	2,300 人	2,261 人	96.6	昨年度は、254名の奨励賞受賞者を輩出し、一昨年と比べ4P程増加した。また、引き続き3,000単位取得者も1名現出している。今後は、それらを単位取得を目指す方々の指標となるようにしていきたい。
79 社会教育課	H24年 3月	・様々な知識や技能を持つ地域住民が学校や家庭、地域に貢献できるための仕組みづくりに取り組んだ市町村の割合	0	100 %	100 %	100	未設置の市町村に対し学校応援団設置の働きかけをした結果、山梨県内全市町村に設置することができた。今後は、引き続き「コーディネーター研修会」の開催や、HPによる先進的な事例紹介を行ない、より充実した学校応援団の取り組みになるよう指導・助言していきたい。
80 スポーツ健康課	H24年 3月	・いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができるよう、総合型地域スポーツクラブを設置している県内市町村の割合	53.6 %	100 %	85.2 %	68.1	残り4町村となった未設置市町村（身延町、早川町、道志村、丹波山村）に対し、広域スポーツセンターと連携し、市町村訪問を行いながら、設置に向けた地域住民の話し合いの開始など、準備段階のスタートが切れるよう働きかけてきた。引き続き、市町村訪問を軸に準備市町村、未設置市町村の支援を強化していく。
81 スポーツ健康課	H24年 3月	・週1回以上スポーツを実施している成人の割合	32.4 %	50 %	38.8 %	36.4	平成23年度に県政モニター（322人の回答）を対象にしたスポーツに関する意識・活動調査結果では、県民成人の週1回以上のスポーツ実施率は、38.8%であった。平成19年度より割合は上昇したが、平成21年度の全国結果（45.3%）には届かない結果であった。今後は、関係団体等との連携を図りながら、以下の内容を柱に、取組を強化していく。 ① 個人でできる簡単な運動の啓発 ② 集団あるいは組織的な取り組みの強化・啓発 ③ 20～40代の働き盛りへのスポーツの啓発
82 スポーツ健康課	H23年10月	・国民体育大会における個人、団体の上位8位以内の入賞数	83 人・団体	100 人・団体	92 人・団体	52.9	引き続き、天皇杯得点900点、20位代を目標とする。

「やまなしの教育振興プラン」進捗状況

担当課	H23年度 現況値の公表時期	指標の概要	H19年度 の現況値	H25年度 の目標値	H23年度 の現況値	進捗率 %	実施状況（今後の取り組み）
83 スポーツ健康課	H23年 8月	・選手、指導者がアンチ・ドーピングへの意識啓発のための講習会に参加している県内競技団体の割合	70 %	100 %	92.5 %	75.0	山梨県体育協会と連携を図り、すべての競技団体（40競技）が出席している会議等へ、ドーピング講習会を盛り込んでいく。また、薬剤師会等の協力を得ながらアンチ・ドーピングに対し積極的に取り組むよう働きかける。
84 スポーツ健康課	H24年 3月	・トップレベルの競技者の養成・確保のための一貫指導体制を確立している競技団体の割合	55 %	100 %	90.0 %	77.8	指導マニュアル等を積極的に使用、又は作成し、体制を整備している団体が、40団体中36団体と増えてきている。今後さらに一貫指導体制への理解を深め、成果を上げる。
85 生涯学習文化課	H24年 5月	・県民文化ホールで開催した主催事業への入場者数	17,951 人	20,000 人	18,961 人	49.3	H21に指定管理者が変更となり、H23は多岐にわたる21の自主事業を実施した。その結果、H23の進捗率は上回ったが、東日本大震災の社会的混乱などの影響を受け入場者数が昨年と比べ1万人以上減少した。H24は計21の自主事業を予定しており、入場者数の一層の増加を目指す。
86 義務教育課	H24年 4月	・県立博物館と連携して教育活動を行っている学校の割合	小 40 %	50 %	小 42.9 %	29.0	博物館の見学を中心に、ミュージアムキットや出前講座の活用がされた。「ふるさと山梨」郷土学習の推進も博物館と連携し進めている。 交通の利便性、授業時間数の確保等の要因により、連携校が固定化されつつあるが、講師の派遣や教材の借用等を更に勧めていく。
87 -----			中 34 %		中 45.9 %	74.4	
88 高校教育課			H24年 6月		高 31 %	高 34.0 %	
89 生涯学習文化課	H24年 4月	・県民の文化芸術活動の発表及びその鑑賞の場である県民文化祭への参加者数	218,973 人	222,000 人	237,693 人	618.4	前年同様総合フェス、部門別フェス、地域フェスを実施、H25の国民文化祭を目前に控え、県民全体の文化意識の向上が図られ、県民文化祭としても多くの参加者を得ることができた。
90 学術文化財課	H24年 3月	・県内の国・県指定文化財の件数	660 件	690 件	670 件	33.3	H19年度から16件の新規指定があり、目標をやや下回っているがほぼ予定どおりである。しかし、同時期に6件の指定解除があり、進捗率は低くなっている。 今後も新規指定に向けた指定候補物件の掘り起こしを行い、文化財の新規指定に努める。